

2008長野大会(144MHz)での 私の判断と行動

2008年6月8日(日)
於 長野県芥子

安島 巧

OCAD
OCAD NO 4533

20 m 縮尺 1:12500

250 100 0

ゴールビーコン地点

道、小道、小径

禁止の道路

民家、住宅密集地

川

鉄道

開けた土地、駐車場など

場所はゴール地点

F 長野大会

144MHz部門 6月8日

けしほつす

芥子 望 王

調査 一之瀬 充史
作図 新井 喜雄

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

OCAD®

OCAD NO 4533

あなたならどう攻めますか？

△スタート地点 ○ゴールピーコン地点

道路 道、小道、小径

車乗り入れ禁止の道路

立入禁止 民家、住宅密集地

池、沼、湿地、川

耕作地 開けた土地、駐車場など

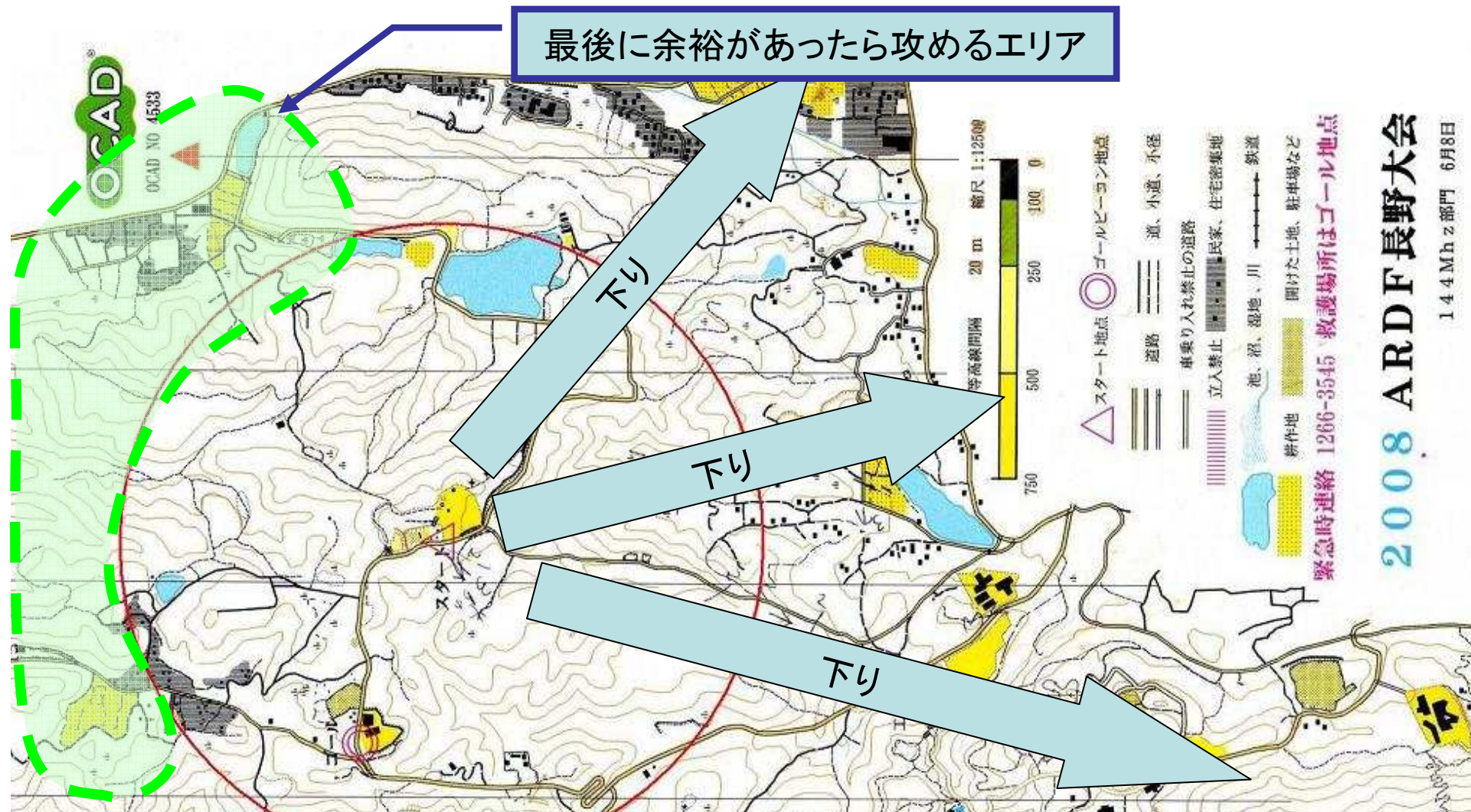
緊急時連絡 1266-3545 救護場所はゴール地点

2008 ARDF長野大会

144MHz部門 6月8日

けしほつす
芥子望三

調査 一之瀬充史
作図 新井 喜雄



①スタート地点での地図読み

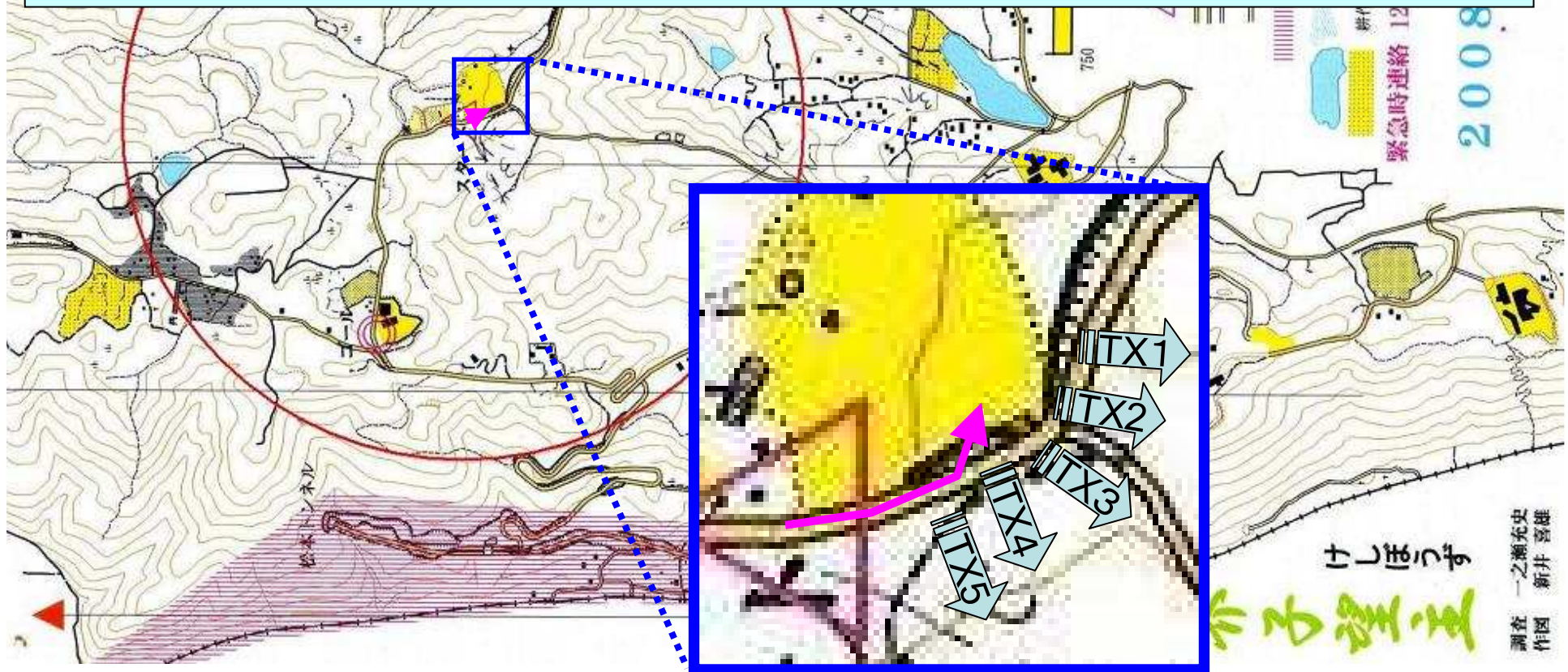
スタート地点から南側はメイントレインだが、全て下り。しかも集合場所(GOAL地点)まで車で地図南側より登ってきたが、とんでもない坂道。従って、スタート直後の初測が成否を握る。スタート順は最終組の一つ前なのでタイムオーバもできないし、地図南端に設置してあると帰ってくるのに1時間以上かかるので、1時間(制限時間140分)経ったところでGOALに帰るという方針決定。スタート北側はゴールに戻ってから余裕があったら攻めることにする。

②探索開始地点

誘導に従って、南下して交差点へ。交差点脇に階段があったので、坂道を駆け下りた勢いで登るがつまづいて転ぶ。「いてて」

なぜ他の人は上がってこないのだろうと思いながら、じんじんしている手で方探するが、高所であるにもかかわらず2つめのTX(TX1)の信号が妙に弱い。耳を澄ますと下にいる他の競技者の受信機から元気な信号音が聞こえる。しまった、バッテリー切れた。あわてて電池交換。あせりながらうまくいかない。

結局2サイクル目から方探。TX1,2が南、TX3が南西、TX4,5が西。よって東側は無く、そのまま南下するコースを選ぶ。



③南に下る

次第にTX2が左下方方向に強くなる。この地図では道路形状から南北方向の位置を割り出すことができず、目視で左下に降りる道を探りながら坂を下る。道だか人家だかわからないところを下って、下の車道へとでる。



2008 ARDF長野大会

144MHz部門 6月8日

調査 一之瀬充史
作図 新井 喜雄

OCAD®

OCAD NO 4533

△スタート地点 ○ゴールビコーン地点

道路 道、小道、小径

車乗り入れ禁止の道路

立入禁止 民家、住宅密集地

池、沼、湿地、川

耕作地 開けた土地、駐車場など

緊急時連絡 1266-3545 救護場所はゴール地点

2008 ARDF長野大会

144MHz部門 6月8日

④TX2

TX2が鳴く。その方向を見ると、競技者が点々と道に沿って動いている。ルートと場所を確実に把握。そのまま上ってゲット。TX1が強力に入る。

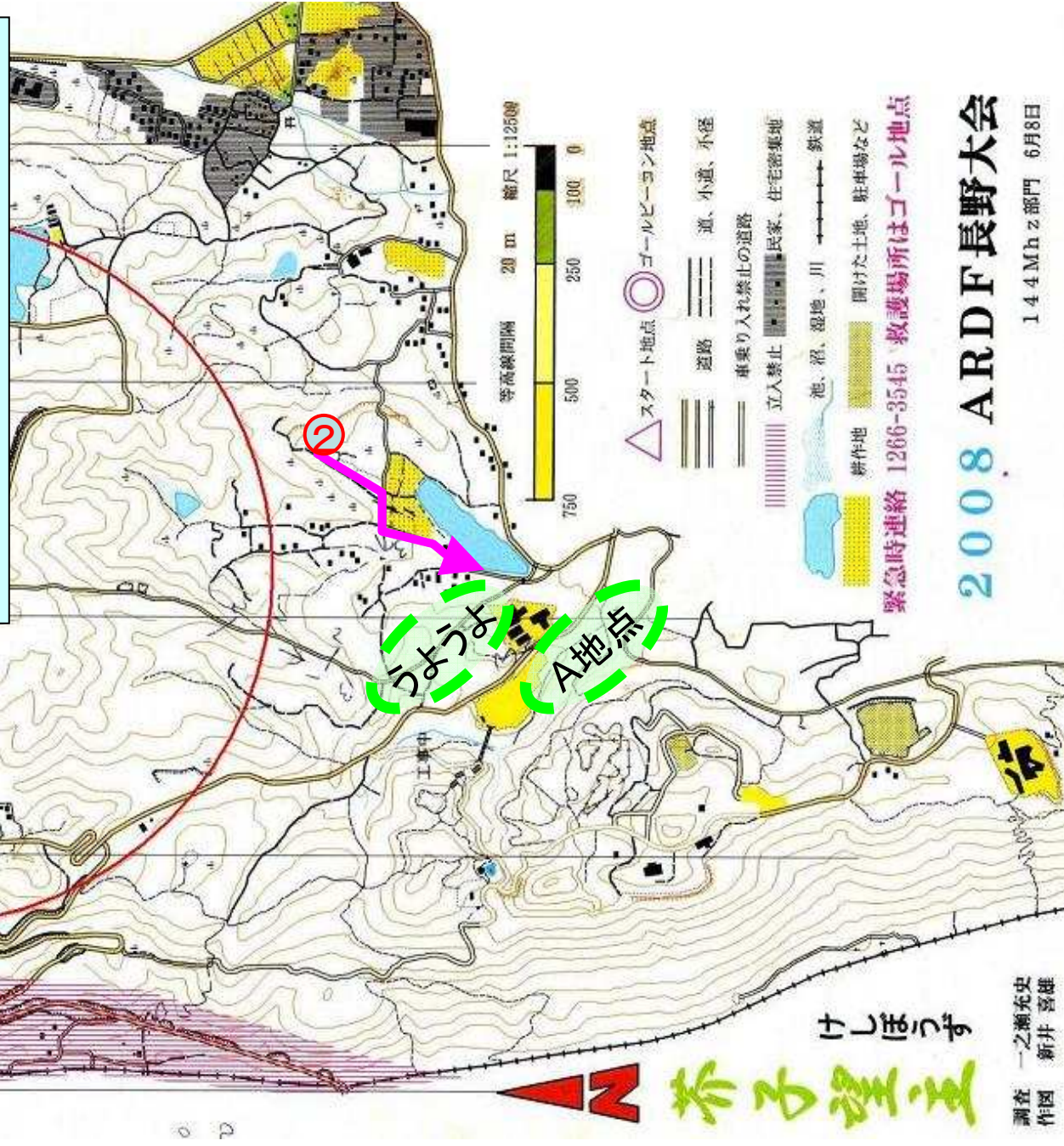
調査 一之瀬充史
作図 新井 喜雄

⑤池のほとり

TX1が鳴くが、さっきよりかなり弱い。下ってきたために、間に障害物が入った証拠だ(巻末の解説参照)。

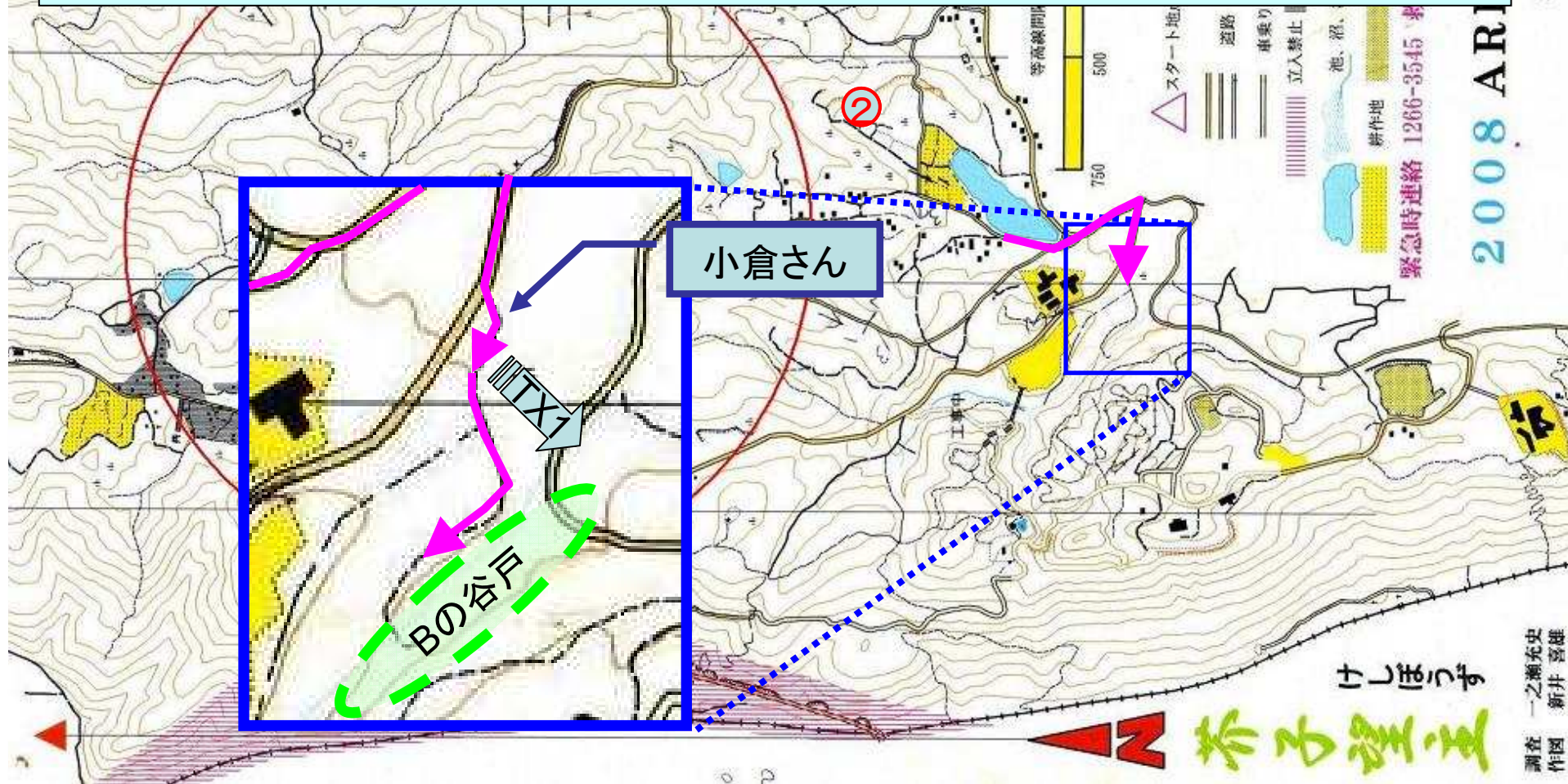
西の山の上の道路に人がうようよしているが、方向的にもそこにはTX1はない。

次の方探地点をA地点付近の高台と定める。そこでさらに南か否かを判断するためだ。



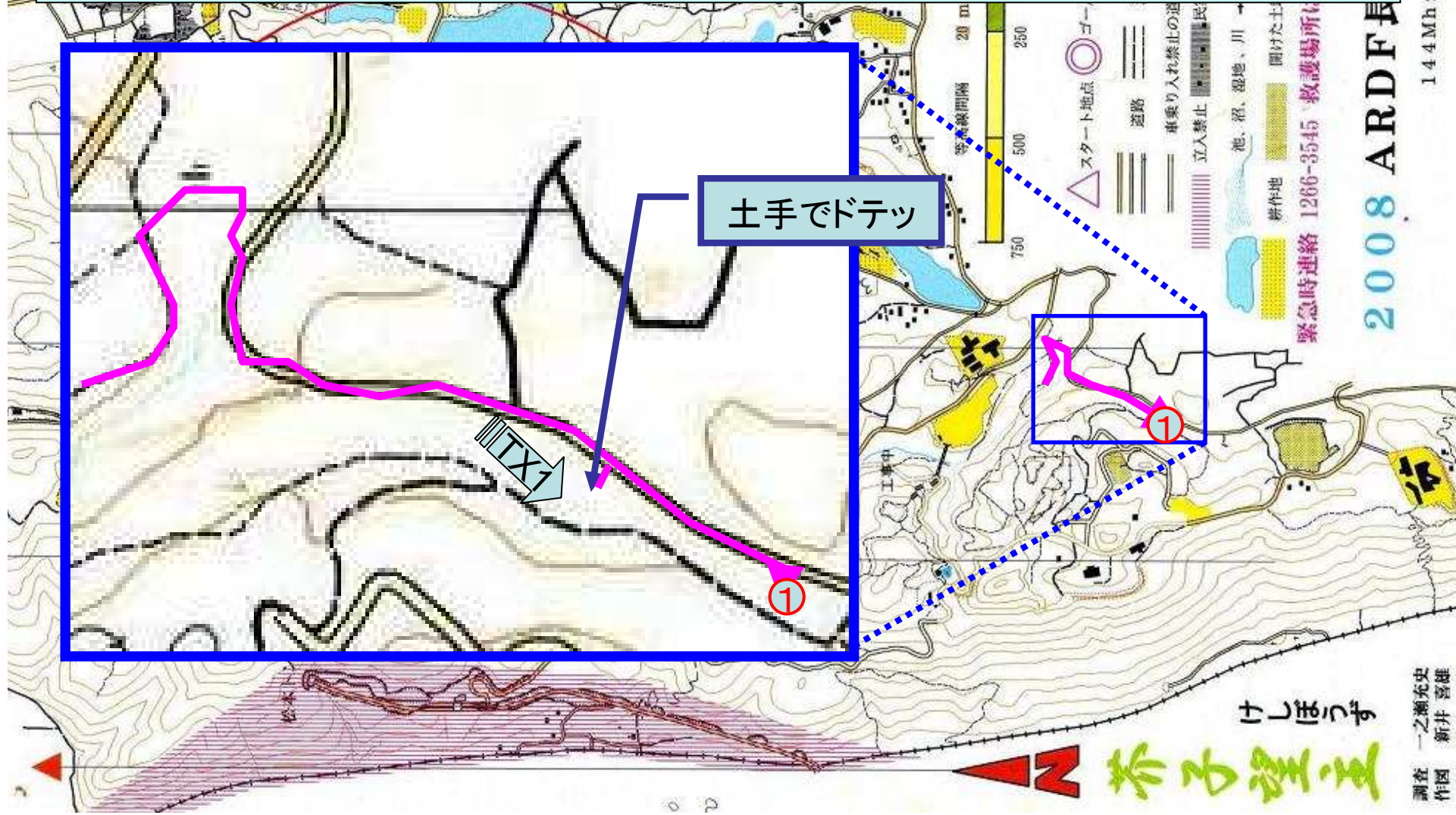
⑥小倉さん

小倉さんが止まっているのを発見。トレインで小倉さんに道で遭遇するのは極めて珍しい。しかも止まっているのを見るのは初めて。TX1が鳴いた。少しでも高いところへと進んだ。南側だ。先ほどと比べてかなり強くなった。Bの谷戸と推定し、目視で探すがよく見えない。もう一回待つことにした。競技者がたくさん集まってきて競技者街道となったところでTX1が鳴く。強くない。すなわちこの谷戸ではなくもっと南だ。



⑦TX1

崖を降りて車道に出てしばらく上ったところでTX1が鳴く。前方右側の土手の上だ。土手を上ろうとしてドテッ。ぬかっていて滑って地図と受信機を泥だらけに。「いてて。」上れそうなところを探し、上ったところでTX1ゲット。

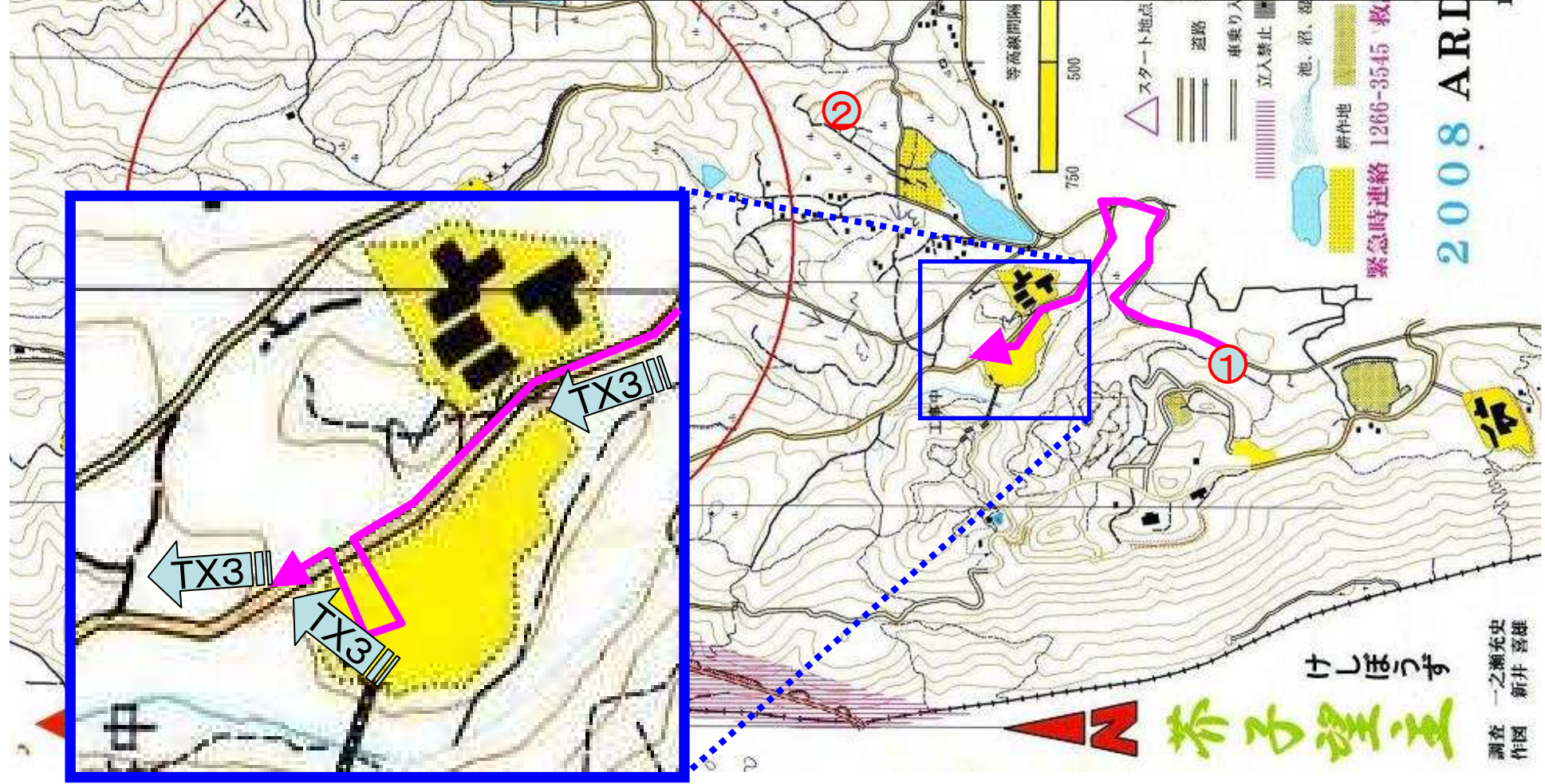


OCAD
OCAD NO 4533

⑧さあ帰ろう。

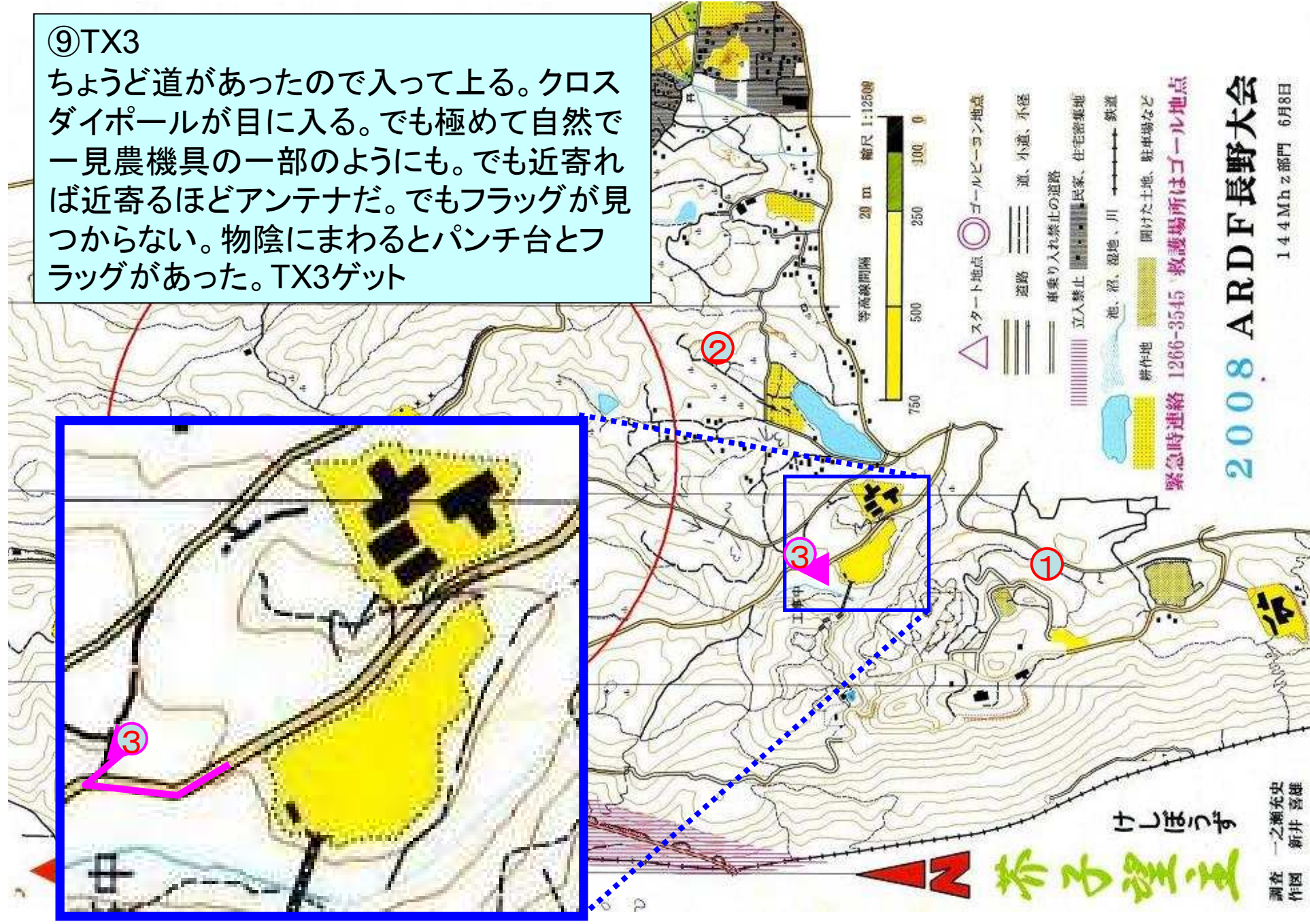
時計を見ると、1時間経過。もう戻る時間だ。施設の前でTX3が鳴く。前方だ。だが、まだ視界が開けていないので方探精度は低い。進行方向に向かって右か左かは定かではない。

比較的視界が開けている駐車場でまた鳴くのを待つ。鳴いた。道路左側ではない。あわてて車道に戻る。道路進行方向わずかに右で近い。



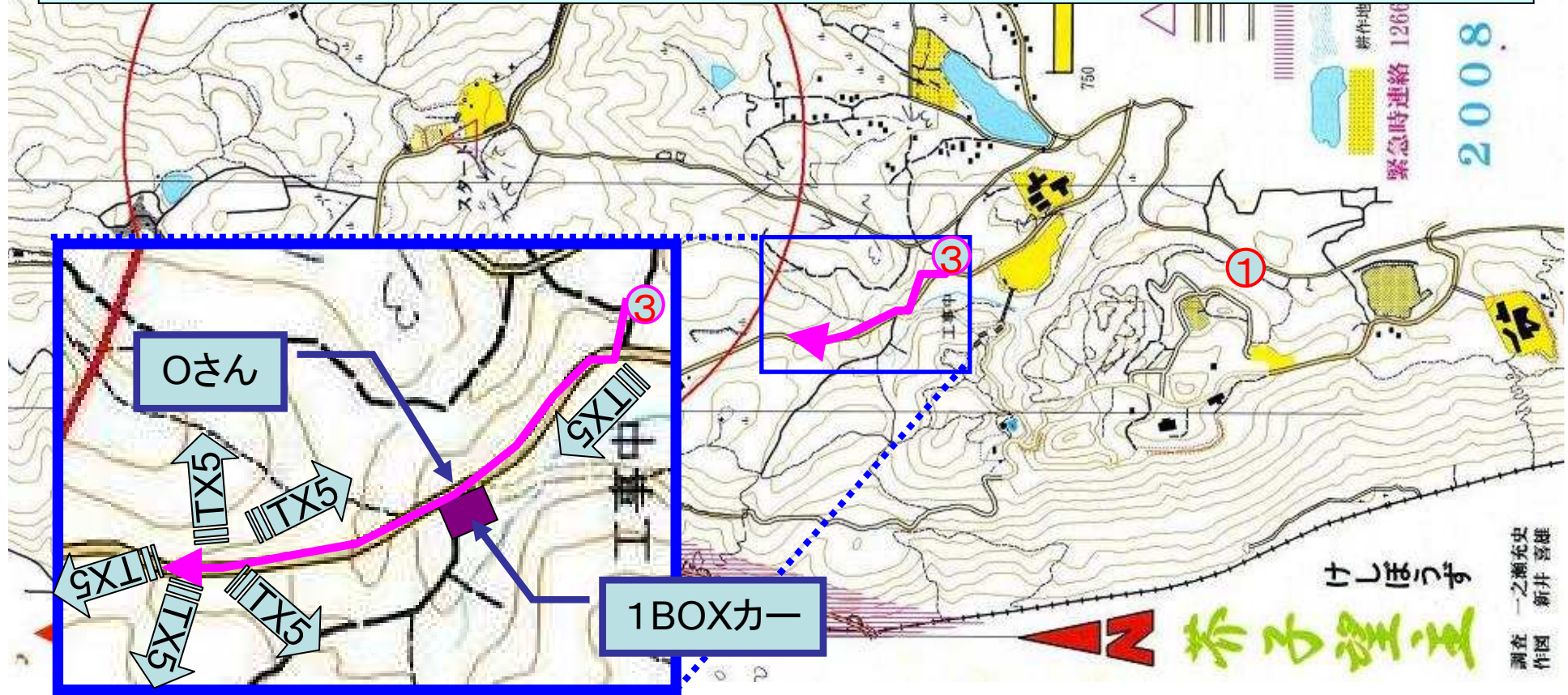
⑨TX3

ちょうど道があったので入って上る。クロス
ダイポールが目に入る。でも極めて自然で
一見農機具の一部のようにも。でも近寄れ
ば近寄るほどアンテナだ。でもフラッグが見
つからない。物陰にまわるとパンチ台とフ
ラッグがあった。TX3ゲット



⑩次のターゲット

残りはTX4,5だがTX4がかなり弱い。M40対象外のTX5は道方向だ。車道を進むか、左に折れていく山道に入るかが重要な判断だ。
スタッフのOさんが1ボックスカーの横に立っている。昨日の悪夢がよみがえる。「今日は惑わされないぞ!」。「いくつ取ったの?」「3つです。」そのまま車道に登る。
TX5が鳴く。方探するが方位が出ない。両側の山の間(すなわち道沿い)には無いということにはわかった。左に折れる道が無い。やっぱりさっきの1ボックスカーの陰だったのだ。昨日に引き続きやられた。



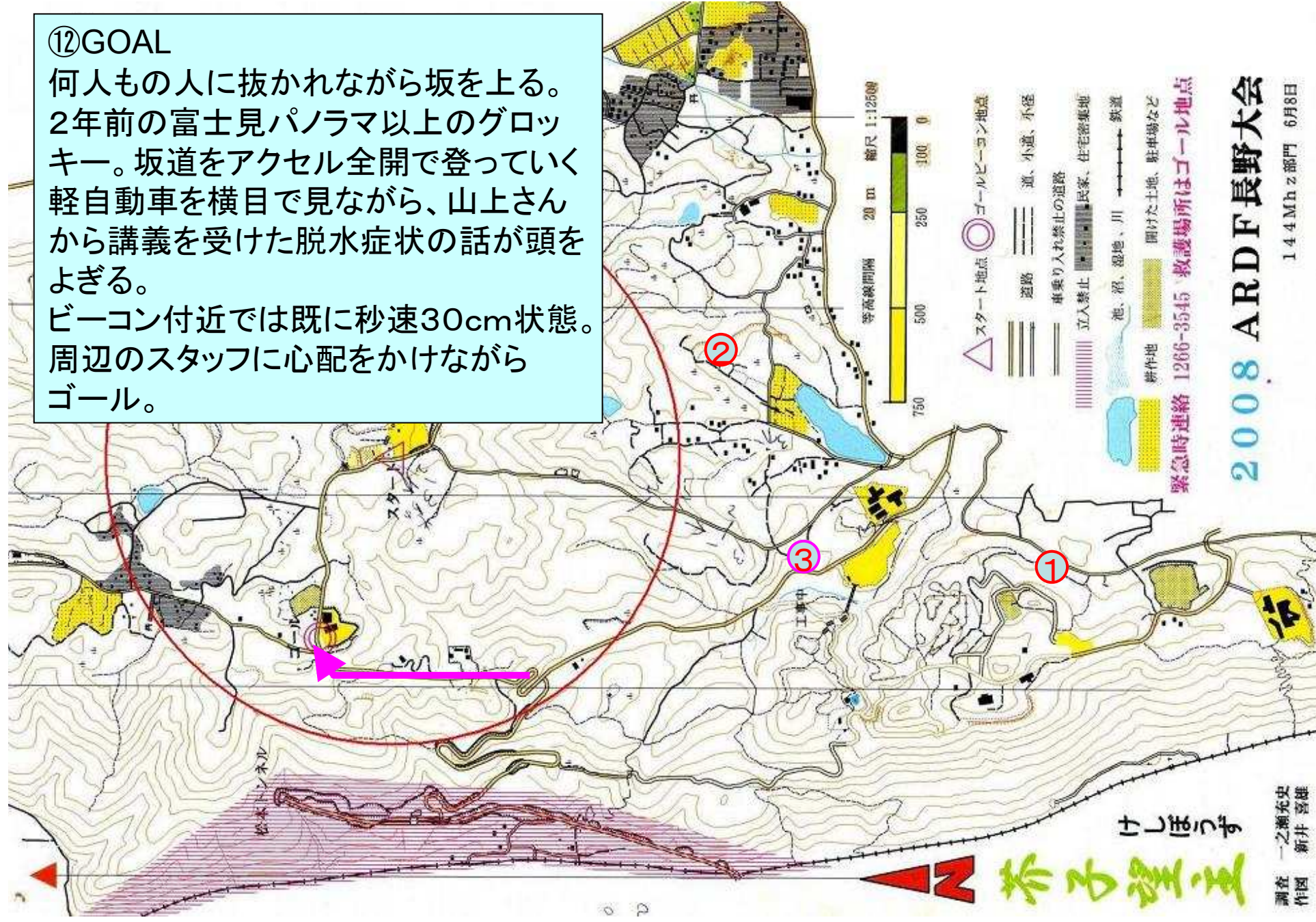
⑪ヘヤピンカーブ

かなりグロッキー気味。しばらく休むとTX5が鳴く。あああの山道方向か。見てみると石川さんや藤田君が山道から出てくる。さてどうしようか。でもこの調子だと、帰りの車の運転どころか、主催者に迷惑をかける事態になりかねないと思い、そのままゴールに向かうことにする。

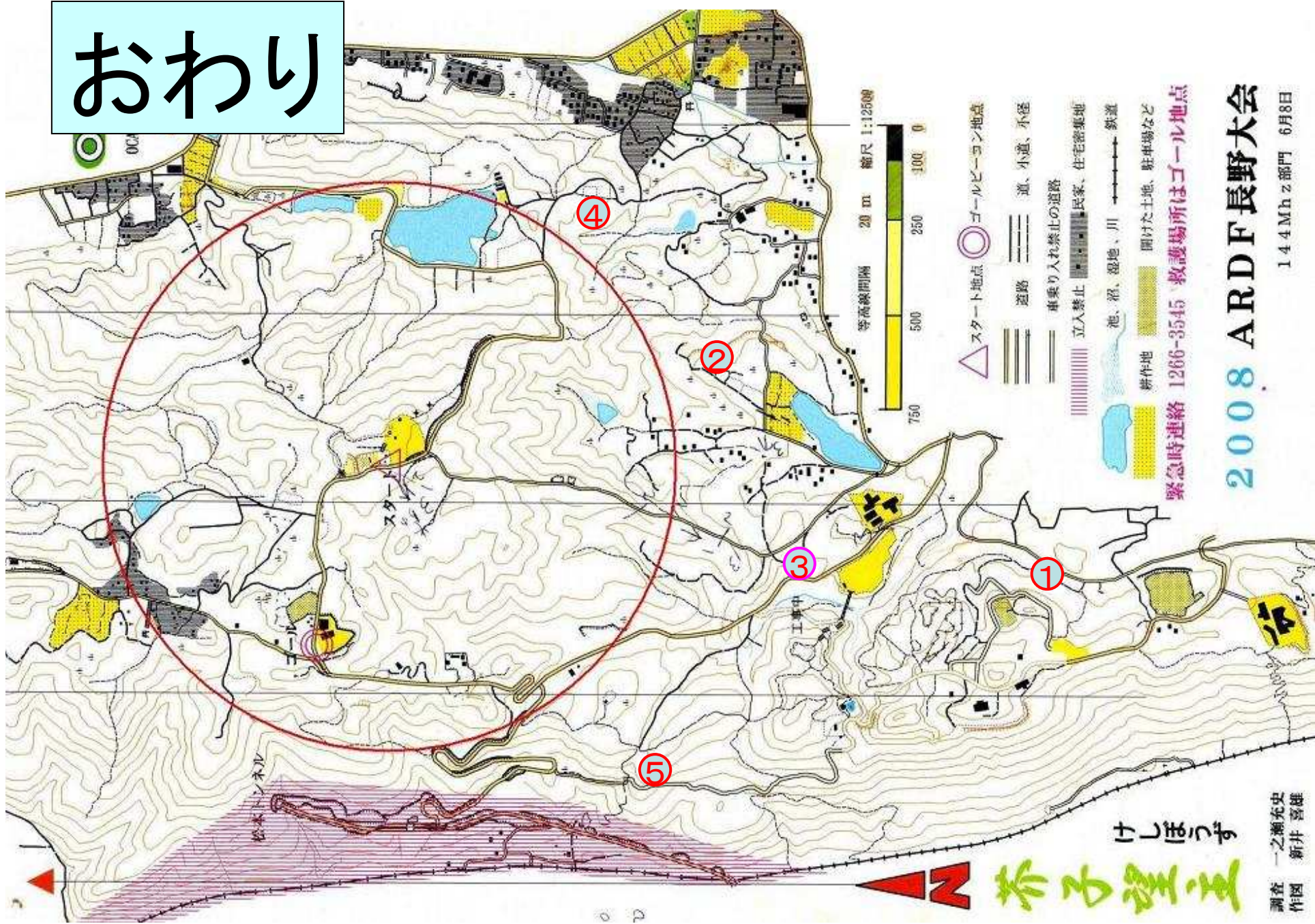


⑫GOAL

何人もの人に抜かれながら坂を上る。
2年前の富士見パノラマ以上のグロッキー。坂道をアクセル全開で登っていく軽自動車を横目で見ながら、山上さんから講義を受けた脱水症状の話が頭をよぎる。
ビーコン付近では既に秒速30cm状態。周辺のスタッフに心配をかけながらゴール。



おわり



反省

- 今回の最大の失敗はTX4の初測ミス。探索開始地点の高台からTX4の方向は確かに若干山陰になっていたような気はするが... いつもだったら動きながら方探するが、転んだショックと電池切れで動転して、足場もよくなかったので動く気力がなく、そのバチがあたってしまったのだ。他の参加者に聞いてみても、初測でTX4の方向をミスしていた人は一人しかいなかった。
- 006P電池は以前は金パナを使っていて年に1・2回しか交換していなかった。最近はいいだめしたダイソーの1個50円電池を使っており、これだとどうやら3大会は厳しいようだ。スタート前のチェックは受信できるかのみならず電圧もチェックしなければ...

その他感想

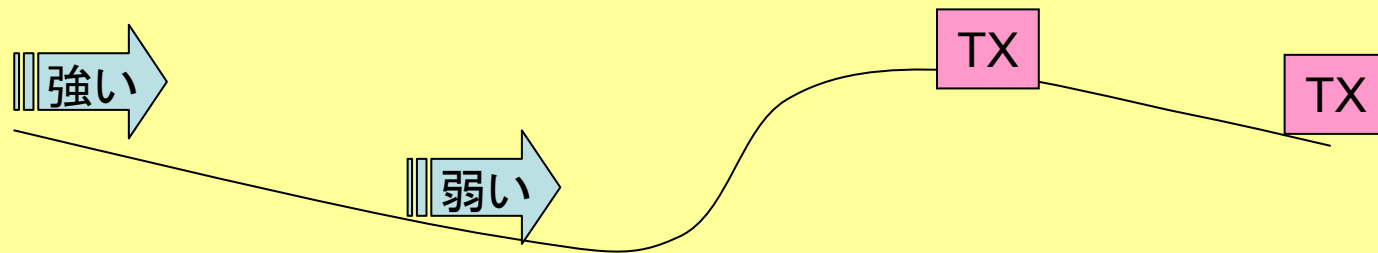
- 今回、探索らしい探索をしたのはTX1のみと言う感じで、あとは坂を下って上ったという感じ。グロッキーで歩行速度がゆっくり(TX3→GOALは私が最長時間である自信があり、SI結果が発表されるのが楽しみ。)だったせいか、お決まりの翌日の足の痛みは全く無い。痛いのは腰(おしり)と腕(^^;
- 本大会のTX設置の特徴(私が見た限り)は、その場所に行ったとき最初に見えるのがパンチ台、アンテナなどフラッグ以外のものであったことである。

本文⑤より

解説 近づくとも反って弱くなるパターン

詳しくはHPにある144MHz攻略法参照

■高さ方向の障害物(横から見た図)



■横方向の障害物(上から見た図)

